

日清製粉(株) 関西地区の原料小麦サイロ収容力25%増強
～収容力20,000トンの原料小麦サイロ増設を決定～

日清製粉グループの日清製粉株式会社(社長:大枝 宏之)の連結子会社である阪神サイロ株式会社は、このたび株式会社日清製粉グループ本社が取得する隣接地に、収容力20,000トンの原料小麦サイロを増設することを決定しました。

阪神サイロは日清製粉の関西地区基幹工場である東灘工場に対し、全ての原料小麦を保管、供給する役割を担っております。今回、既存サイロに隣接して、新たに原料小麦サイロを増設することにより、従来以上に需要に即した原料小麦の確保と保管及び安定供給を行うとともに、日清製粉・東灘工場、阪神サイロが一体となって、より効率的なサイロ運営を実現してまいります。

(阪神サイロ株式会社の増設概要)

増設収容力 : 20,000トン
(増設後の総収容力 105,000トン、小麦ベース)
着工 : 2014年5月予定
完工 : 2015年4月予定
投資額 : 約16億円

(阪神サイロ株式会社の会社概要)

所在地 : 兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町14-7
資本金 : 5億円
株主 : 日清製粉株式会社、双日株式会社、株式会社上組
取締役社長 : 島津 和義

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当:扇谷、佐々井
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650